

千葉県知事選挙 11の論点 主要3候補公約比較表

作成：淑徳大学コミュニティ政策学部矢尾板俊平研究室

論点	熊谷としひと	関まさゆき	かなみつ理恵
1.市町村との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 予定調和・形式的な意見交換会ではなく、知事自身が県内各地(野田市など東葛北部、銚子など東総、館山など安房地域も含め)に直接出向き、市町村長・当事者・県民とひざを突き合わせて現場の課題について意見交換することで、現場感覚を県庁組織に取り入れ、県民・市町村に寄り添った県政運営を行う</li> <li>● 平時より各市町村長とのホットラインを構築し、課題を解決するほか、災害時にはホットラインを活用して、実務レベルと連携を取りながら、現場の最新の状況を把握した上での災害指揮を行う</li> <li>● 管理職との率直な意見交換、県内各所にある県施設を訪問しての現場職員との交流、若手職員との対話などを通じ、県庁組織の活性化を図る</li> <li>● 各種団体・企業との対話を積極的に行い、千葉県の英知をひとつに結集させる 職員の人材育成を充実させる。研修先の開拓、研修費の拡充などにより、意欲と能力にあふれる組織づくりに努める</li> <li>● 各地域の振興事務所を強化する。市町村とのネットワークを強化し、現場で地域のために尽力した職員がしっかり評価されるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市町村や様々な団体、そして県民の皆様から、課題や解決策・アイデア等を広く募り、県政に反映させます。</li> </ul>	

(政令市との関係)

● 千葉県と千葉市合同の戦略本部を設置し、県と政令市が強力なタッグを組み、二重行政の解消や課題解決に取り組む。まずは新型コロナウイルス対応について、県と千葉市の合同対策本部を設置し、千葉の総力を挙げての対策を実施する

● 千葉県水道と千葉市水道の統合を図り、行政コストの縮減を実現する。若葉区・緑区の人口密度の低い地域は市が独自に水道事業体を作って給水している状況で、経営効率が悪い状況となっている。市水道と県水道を統合することで全体の経営効率を向上させ、年間2億円以上のコスト削減につながると試算されている

● 千葉市消防ヘリコプターを県全体で運用し、県全体の防災力向上と千葉市の負担軽減を図る。千葉県は防災ヘリコプターを一機も所有しておらず、2019年の災害では千葉市消防ヘリコプター2機が千葉市内はもとより県内各地を飛行し、被災状況の収集などに貢献した。千葉県は消防ヘリコプターの運用経費分を国から交付税で受け取っており、私が千葉市長に就任以来、度々、県に対して「千葉市のみが所有し、年間数億円のランニングコストを負担しているのはおかしい」と訴えてきたが、未だに改善されていない。県全体での共同運用とすることで、貴重な消防ヘリコプターを県内全域の防災に活用できるほか、千葉市の負担軽減を図る

	<p>●千葉市が他市と比べて不公平な扱いを受けている県補助金等を改善する。子ども医療費助成や心身障害者など、県から県内市町村に 1/2 助成されているものが、千葉市のみ「政令市だから」という理由で半分以下に削減されている。私が市長に就任後、子ども医療費助成は 1/4 まで改善し、年間 1 億 4700 万円、県からの助成額を増やすことができたが、未だに他市と比べて低い状況である</p> <p>●老朽化したマリンスタジアムの将来の建替え用地として幕張メッセ駐車場用地を候補とし、千葉県・千葉市一体となって費用対効果について検討を進める。2023 年度中に開業する新駅至近の距離であり、スタジアムへのアクセスを大幅に向上させ、幕張新都心全体の活性化に大きな効果が見込まれる。</p> <p>●県立美術館と千葉市美術館の共通券、県営住宅と市営住宅の連携など、縣市連携によって市民・県民の利便性向上を実現する</p>		
2.財政・行政改革	<p>●相次ぐ災害と新型コロナウイルスへの対応により、県の基金は大幅に減少している。今後は景気低迷による大幅な税収減が予測される中でも新型コロナ対策や県民福祉の向上に予算を充当するため、自らの給与削減を行った上で、県民目線での予算の見直しを行う</p> <p>●全国最低レベルの県税徴収率の向上、低調な電子決裁の利用率向上（千葉市 99.1%に対し、千葉県 5.1%）、外郭団体等の見直しなど、徹底</p>	<p>● 厳しい財政運営を踏まえて、全ての県事業について、「ゼロベース」でその必要性やあり方を検証します。</p> <p>● 縦割り行政の弊害を打破し、知事のリーダーシップを発揮して徹底した組織改革と部局横断的な取組みを加速化させます。</p> <p>● 知事として市町村長との積極的な意見交換の機会を設けます。</p>	

的な行財政改革に着手する

●広域行政体として県内全体の行政コスト縮減のためリーダーシップを発揮する。私は千葉市長として県が消極的だった千葉市を含む 11 市の下水道と県水道局との徴収一元化に就任以来取り組み、2018 年 1 月に 4 市（千葉市、成田市、市原市、鎌ヶ谷市）で一元化が先行実現。それによる財政効果は千葉市だけで年 2 億円であり、2020 年 1 月より残る 6 市（船橋市、市川市、松戸市、浦安市、印西市・白井市）でも一元化が実施され、県全体で大きな財政効果を挙げた。このような事例は県内に多く存在する

●他県と比べ遅れている県内水道の広域化・統合にスピード感をもって取り組み、県内水道の経営効率を高め、県民負担をできる限り軽減する（民営化ではない。千葉市営水道と千葉県営水道の統合だけでも年 2 億円以上の財政効果を試算）

●県施設や道路照明灯など県管理の照明関係の LED 化を進める。千葉市は既に約 7 万 3000 灯以上の LED 化を完了しており、年間 6.6 億円以上の電気料金の削減と年間 12,691 トンの CO2 削減（乗用車 5,507 台分）を実現している

●副業人材の活用を進め、民間等外部人材の優れた知見を県の各種事業・施策に活用する

●千葉県は児童虐待の死亡事案を原則非公表という方針を打ち出す（批判を受け撤回）など、全国的にも情報公開が遅れている。同様の体質を持っていた千葉市の情報公開を大幅に改善させ

●常に現場主義を掲げて行動し、広く県民の「生の声」を聞き、そして必要な情報を積極的に発信してまいります。

	<p>たのと同様に、県の情報公開も着実に進めていく</p> <p>(デジタル化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●千葉県のデジタル化、業務改善を大幅に進める。千葉市は全国に先駆けて2014年から押印見直しに着手し、2,000以上の手続きで押印を不要とするなど、徹底的に市民目線の行革に努めてきた。事業者向けの許認可・手続き改善を含め、「県民に時間を返す行革」を徹底する</li> <li>●デジタル化について庁内の全体最適化を進めるためには強力な推進組織が必要。未だCIOもCIO補佐監も設置せず、IT戦略を担当する専門の部も課も千葉県は存在しない状況(千葉市、近隣県は全て設置済)。適切な人材登用と組織改編を行い、スピード感をもって進める。特に県は市町村共通システムも多数構築していることから、県単体だけでなく県内市町村の行革も支援する</li> <li>●オープンデータ・ビッグデータの活用を進め、データに基づく施策立案、県民に開かれ、県民が参画できる県政を実現する</li> </ul>	<p>(デジタル化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●今後のビッグデータ活用による更なる技術革新と豊かな県民生活の実現のために、インフラとしての意義を重視し、行政及び県内全体における最先端技術の実装・デジタル化・スマート化を積極的に進めます。</li> <li>●デジタル技術の活用等を通じて、県庁の業務改革や県民サービスを向上させます。</li> </ul>	
<p>3.医療・福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●初期・二次・三次医療機関の機能分担・連携を進め、人口減少・高齢化が進む地域も含めた医療提供体制の充実に取り組む</li> <li>●がん検診の受診率・精度管理を向上させ、疾病の早期発見・重症化の予防を図る</li> <li>●相談支援体制や精神科救急の機能強化など精神科医療体制を充実させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●県内各地域の医療課題を今一度整理し、限られた人的・物的医療資源を、より効果的に配分します。特に人口減少が進む地域での医療提供体制を確保し、医療格差を解消していきます。</li> <li>●(仮称)総合救急災害医療センター、千葉リハビリテーションセンター、社会福祉センターの整備等を着実に進めます。救助実施に協力ください</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●看護職員養成校の増設、就学資金の増額、介護職員への待遇改善に直結する財政支援等に取り組み、医師、看護師、介護職の大幅増員に早急に取り組めます。</li> <li>●高すぎる国保料を引き下げ、安心して医療にかかれるよう県費の繰り入れをおこないます。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●災害拠点病院・医療救護班等の整備による災害医療体制の機能強化、平常時及び感染症発生時における危機管理・医療提供体制を整備・充実させる</li> <li>● AED 配置等による病院前救護体制・急性期医療を充実させる</li> <li>●安心して子どもを産めるよう周産期医療連携・搬送体制を整備するとともに、夜間や休日の小児救急医療体制の整備を促進・充実させる</li> <li>●大学と連携した医師育成・派遣体制の強化や再就業支援による医師・看護師の確保を進める</li> <li>●県民の健康づくりの推進と健康プログラムの創出・普及、口腔がん検診のモデル事業の推進、歯周病検診の充実を図る</li> <li>●早期診断と医療・介護連携による認知症予防の推進、医療・介護の多職種連携による在宅医療体制の充実を図る</li> <li>●地域包括ケアの推進、介護人材の確保・負担軽減、各種介護施設の着実な整備、中核地域生活支援センターの強化、地域で認知症とその家族を支える施策などを推進する</li> <li>● 8050 問題、引きこもり、自殺対策など、制度のはざまを埋める福祉施策に取り組む</li> <li>●コロナ禍で経営が悪化している医療機関・薬局等の支援を国に求めるとともに、災害時の支援の在り方について検討する</li> <li>●犬猫の殺処分ゼロや、飼い主の適正飼養に向けた取り組みを強化する</li> <li>●千葉市では昨年の災害においてペットと避難</li> </ul>	<p>た A E D のパッド張替え代の支給など「心肺蘇生法及び A E D の普及促進」を更に図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 24 時間 365 日対応可能な子供急病電話相談・一般急病電話相談の実現と、これらの共通ダイヤル化を図ります。</li> <li>● がんの予防・早期発見、がん医療提供体制整備、緩和ケア、患者の生活支援など総合的な見地から、がん対策を推進します。</li> <li>●「健康長寿ちばプロジェクト」として、「スポーツ立県ちば」の推進と併せて、「無理のない運動」による積極的な健康増進策を市町村と連携して実施し、「健康寿命の延伸」をはかります。</li> <li>● 歯・口腔ケアの推進及び「8029」（80 歳で肉を食べられる）運動を広めます。</li> <li>● 医師や看護師などの医療従事者の確保・育成のための修学資金の貸付を拡充します。潜在看護師の復帰支援や訪問看護師育成に対する支援を行います。</li> <li>● 特別養護老人ホーム等の整備、介護職員の確保・育成への支援を促進します。</li> <li>● 自宅で介護にあたる家庭を支援する「在宅介護支援」を充実させます。</li> <li>● 介護ロボットの導入や施設の I C T 化を積極的に支援します。</li> <li>● 高齢者が元気に、自ら積極的に活動することを応援するため支援金等の給付や充実した各種サービスが受けられる制度を創設します。</li> <li>● 障害のある人がその人に合った福祉サービスを選択しつつ、その人らしく暮らせる環境を整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保健所、児童相談所・女性相談窓口の人員増・増設、住民サービス向上のために必要な県職員の人員増をすすめます。</li> <li>●公立・公的病院の存続・充実をはかることを基本に、国から押し付けられた地域医療構想に捉われず、地域に必要な地域医療構想を住民や医療関係団体と相談しながら策定します。</li> <li>●国の公立病院の統合・再編計画、地域医療構想、縮小・再編を求めた 460 病院リストの撤回を求めます。医療・介護、福祉の充実のための国の財政支援強化を求めます。</li> </ul>
--	--	--	--

	<p>できる避難所を設置。大規模災害時のペットの受け入れ態勢を強化するほか、動物の飼い主に対する防災意識・対策の啓蒙啓発事業を実施する</p>	<p>します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共施設のバリアフリー化、鉄道駅のエレベーターやホームドアの設置を促進、手話通訳配置等の情報保障の促進、点字ブロック等の適切な維持管理、パーキングパーミット制度の普及を進めます。</li> <li>● 障害者の多様なニーズに応じた職業能力の向上と雇用を促進するため、企業とのマッチングや就労後におけるフォローアップを実施、また農福連携を推進していきます。</li> <li>● 社会全体でつくる地域包括ケアシステムの構築を推進するとともに、多世代かつ誰もが、共生できる地域づくりを目指します。</li> <li>● 認知症支援を強化していきます。</li> </ul>	
<p>4.子育て・教育</p>	<p>(子育て)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●子ども医療費について、持病等で何回も受診する子を持つ世帯や多子世帯の自己負担を軽減するため、医療費助成制度に自己負担の上限を設けるなど、子育て世帯の医療費負担軽減を図る</li> <li>●国の施策も積極的に活用しながら、市町村の保育所・放課後児童クラブの待機児童対策、処遇改善・人材確保を支援する</li> <li>●病児保育・一時預かり・休日保育など、多様な保育の充実を図る</li> <li>●非認知能力の形成など、将来に最も影響を与える幼児教育の充実に向け、幼稚園・こども園・保育所の質の向上への支援、幼・保・小の接続の</li> </ul>	<p>(子育て)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 義務教育課程の給食費「ゼロ」を目指します。</li> <li>● 地域の実情やこのコロナ禍で加速している少子化を踏まえて、待機児童の問題の解消と施設運営の安定化を図ります。</li> <li>● 学童保育(放課後児童クラブ)の待機児童解消をはかります。</li> <li>● 幼児教育の更なる振興をはかるとともに、家庭教育への支援を強化します。</li> <li>● 道徳教育を推進します。</li> <li>● 幼稚園教員や保育士の給与改善のための支援を行います。</li> <li>● ネウボラを核とした母子保健システムの構築を目指した子育て世代包括支援センターを各地</li> </ul>	<p>(子育て)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●公立保育の、民営化にストップをかけます。保育士の賃金改善のため、県単独補助を増額します。民間・無認可保育所への県費補助を拡充します。</li> </ul>

	<p>円滑化に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●森のようちえん（自然保育）の認証制度を定め、支援する。房総の豊かな自然で子どもを伸びやかに育てる環境を整備し、移住促進を図るほか、千葉県全体の魅力とする</li> <li>●県内企業の働き方改革を後押しするとともに、子育てに優しい企業を増やす</li> <li>●子どもの貧困対策、児童相談所の機能強化や里親等委託率の向上などを最重要施策の一つと位置づけ、子どもに関する総合的な条例を制定し、プロジェクトチームを結成。「どんな家庭に生まれた子であっても千葉県は最善の未来を用意する」ため、児童虐待を始め、困難な状況に置かれている児童、さらには家庭の支援に全力を挙げる</li> <li>●児童相談所の増設や一時保護所の改善などハード面に加えて、児童福祉司、児童心理司など、児童相談所を支える人材の確保・育成、各種福祉機関との連携強化を進める。また、増設までの間も同一施設内で分所を設置し、所長の負担軽減と措置判断の迅速化を図り、円滑な増設を実現する</li> <li>●里親・児童養護施設など困難な環境にある子どもたちの進学を力強く支援するため、千葉市で実現したような返済不要の給付型奨学金を県内の奨学団体や篤志家との連携により実現する一人親家庭の支援、DVの防止、妊娠時からの支援、こども食堂やフードバンクとの連携など、困難な状況に置かれている家庭の支援を充実させ</li> </ul>	<p>域に設置します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●児童相談所支援システムの更新を行い、デジタル化・スマート化を、新設予定の2箇所の児童相談所で徹底するとともに、新設に向けて取り組んでいる市への人的物的支援を着実に実施するなど、児童虐待防止策を徹底して「児童虐待ゼロ」を目指します。</li> <li>●児童養護施設の整備を支援するとともに家庭的養護の推進を図ります。</li> </ul>	
--	--	---	--



る

●産後ケアの充実、不妊治療への助成に加えて不育症対策に取り組む

(教育)

● GIGA スクール構想など、IT を活用した教育を充実させるとともに、AI には無い人間本来の力を養う教育を推進する。また、低所得者世帯に対する Wifi ルーターの貸し出しなど、デジタル学習環境の支援を実施する

●県として学級編成の基準を示しつつも、各学校の実情に応じて柔軟に編成、教員を配置できる制度を検討する(少人数学級、少人数指導、専科教員などを選択可能に)

●小学校における専科教員を県独自に増員し、担任の負担軽減と教育の質の向上を図る

●全ての小学校へのスクールカウンセラーの配置を早期に進め、いじめや不登校の未然防止や対策、さらにはメンタル面の安定による教育効果、教員の支援などを図る

●スクールソーシャルワーカーの増員、スクールサポートスタッフなど多様な人材の配置、水泳授業のスイミングスクールへの委託など、スタッフの充実による「チーム学校」の強化、教員の負担軽減を図る

●市町村と共同で学校給食費の無償化に取り組むほか、学校用具などの負担軽減を図る

●教育の一翼を担う私立学校に対して教育環境の整備や保護者負担の軽減のため引き続き支援

(教育)

●給食費「ゼロ」を目指します。(再掲)

●「千葉に住めば成績が上がる！」を掲げて千葉の子どもたちの学力を向上させます。

●オンライン教育環境の整備を積極的に推進します。これに併せて、家庭にネット環境が無い子供たちにWi-Fi 器機等の無料貸し出しを行って支援します。

●私立と公立の格差を解消するため私学助成の拡充を進めます。

●老朽化した公立学校の施設等を積極的に更新・改修していきます。私立学校も同様に支援します。

●公立学校体育館の空調設備の導入を進めます。

●スクールカウンセラーの増員やSNS を活用した相談体制の拡充など、いじめ防止対策や不登校の子どもたちへの支援を強化していきます。

●スクールサポートスタッフの配置強化、部活動指導員の配置、学校業務におけるICT 活用などを通じて、教職員の多忙化対策を推進していきます。

●教職員人材の確保と資質向上を図ります。

(教育)

●ひとり一人の子どもに目の行き届いた教育を実現するために、県の教育予算を増額し、正規教職員の大幅増員、講師確保のための待遇改善をはかり、早急にすべての小中学校での25人以下学級を実現します。

●子どもの「こころ」のケアを重視し、養護教諭・スクールカウンセラーなどを増員します。

●子どもの貧困と教育格差解消のため、父母の教育負担を軽減します。県独自の奨学金制度を新設します。

●給付型奨学金の拡充、高校授業料無償化の復活を国に求めます。

	<p>するほか、公私の最適な役割分担を丁寧な議論の上で進める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教員のなり手不足と研修重複による負担軽減を図るため、教員免許更新が不要な特区をモデル的に千葉県に設置することを国に強く働きかける</li> <li>●労働市場の実態にあった実践的なキャリア教育を推進する</li> <li>●技術系・福祉系の人材不足、ミスマッチの解消に向けて、特色ある県立高校の取り組みをさらに推進するとともに、教育環境を着実に整備する</li> <li>●インクルーシブ教育の推進や医療的ケアが必要な児童生徒への支援を充実させる</li> <li>●制服についてトランスジェンダーへの配慮だけでなく、女子生徒が普通にスラックスも選べるよう、各学校における制服のあり方検討委員会の設置を呼び掛ける</li> </ul>		
<p>5.経済活性化・産業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高速道路インターチェンジ周辺や主要幹線道路周辺への産業用地整備を全庁挙げて推進する。その際には周辺環境との調和を図りつつ、県企業局による整備、民間開発、土地区画整理など、あらゆる手法を駆使するほか、特に人口減少が続く市町村は重点的にサポートする</li> <li>●企業立地補助制度の充実や規制緩和などをスピード感をもって行い、民間投資を促進する</li> <li>●幕張新都心については既に千葉市として国家戦略特区の活用、幕張新駅整備などに取り組ん</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リーダーシップを発揮して、技術革新や産業構造の転換を踏まえた戦略的な企業誘致と、大胆な産業用地の確保を実施することにより、企業人の「夢」の実現に携わり、地域雇用と県経済の発展の牽引役の創出へと繋げていきます。</li> <li>●「千葉愛!」「WE LOVE CHIBA」を合言葉に、県内各地域の魅力ある製品の千産千消（地産地消）を進め、積極的な海外展開やインバウンドの誘引にも繋げていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●雇用とくらしを守るため、中小零細企業・事業に対する支援を強化しながら最低賃金を 1500 円以上に引き上げるよう国に強く求めます。</li> <li>●公共工事・事業を、県民のくらしや環境を改善し、災害対策となるものを最優先にします。地域の中小零細事業者への優先的発注を強化し、地元業者を元気にし新たな県内雇用の創出にもつなげます。</li> <li>●公共工事受注の業者と労働者を守る、公契</li> </ul>

	<p>できたが、県有地の活用など県自身が積極的に千葉市と連携を深めることで一層の活性化を図り、その効果を県内全域に波及させる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●千葉市においてドローン・自動運転などの先端技術実証特区として国家戦略特区指定を実現したように、千葉県においても東大柏の葉キャンパスなど産学連携、新しい技術の活用やベンチャー企業の集積、かずさアカデミアパークの活用を図り、新たな産業創出に取り組む</li> <li>●起業家が集うプラットフォームを整備し、起業家と接する機会の拡大、学生に対する起業支援を強化することで、創業半島・千葉を作る</li> <li>●新型コロナウイルスの感染拡大により、大きな影響を受けた県内経済、特に中小企業への支援に全力を注ぐとともに、コロナ禍を契機に、生産性向上や働き方改革が図られるよう伴走型の支援を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「千葉愛!」「WE LOVE CHIBA」の醸成とふるさと千葉の魅力の再発見へと繋げる「県民の日」(6月15日)の事業を行います。</li> <li>● 千葉の特色ある商工業の発展のために、ハード・ソフト合わせたあらゆる支援策を講じます。「新しい働き方」・「新しい生活様式」の推進を後押しします。特に、中小企業等での働き方改革・テレワークの導入・定着への取組みに対する支援を行います。</li> <li>● 県内各地の環境に応じた企業誘致を行い、雇用と経済活性化を図ります。</li> <li>● 成田空港のアクセスや道路ネットワークの強化等を踏まえた、産業用地の確保を積極的に図っていきます。</li> <li>● 千葉の未来を支える企業をつくるために、産学官連携やベンチャー企業支援を積極的に進めます。</li> <li>● 後継者不足等の事業承継問題については、伴走型のきめ細かい支援を行います。</li> <li>● 本県経済の活性化を支える人たちが、ひとり一人の個性に応じて働けるように、若年者の勤労支援や企業採用におけるマッチング、離職者の再就職訓練の充実を図ります。特に、就職氷河期世代を中心とした就職・再就職の支援プログラムを充実させます。</li> </ul>	<p>約条例の制定をめざします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域商店街活性化のための予算を増額します。</li> </ul>
--	--	--	---

	<p>(物流)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●国と連携して特区制度を活用するなど、成田空港を核とした国際的な産業エリアを整備する貨物に強い成田空港の特性を生かし、国際物流拠点の整備を促進し、国際物流ハブ空港を目指す。国際物流拠点は大規模災害時に国際支援を受ける拠点としても機能する</li> <li>●成田空港の活用にあたっては常に周辺住民の理解を基本とし、関係市町村との緊密な連携の下で進めていく</li> <li>●成田に誕生する新たな卸売市場の機能を生かし、県産農林水産物の海外輸出を促進する千葉港長期構想に基づき、千葉港の港湾設備を着実に整備するとともに、成田空港物流機能との連携を進める</li> <li>●京葉臨海コンビナートの競争力支援に向けた施策や規制緩和を進める</li> </ul> <p>(地域活性化・観光)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●九十九里の長大な砂浜は千葉県の財産。養浜事業を着実に進めるとともに、県有地への民間活力導入など民間投資を積極的に呼び込み、首都圏有数のビーチの活性化を図る。千葉市では民間活力導入によりビーチサイドレストランや複合施設を導入するなど、砂浜・公園の活用が進んでいる</li> </ul>	<p>(物流)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●成田空港の滑走路新設を含めた「更なる機能強化」と地域振興策を着実に実施します。</li> <li>●特に道路、鉄道「都心直結線」構想の実現や新交通システムの導入などを視野に入れて空港の利便性を向上させます。</li> <li>●成田空港の機能強化に伴って、国家戦略特区を用いた周辺地域の土地利用規制の緩和等を図り、周辺市町での物流産業や医療産業等の誘致へと繋げていきます。</li> <li>●港湾を計画的に整備しフル活用することで、千葉県の半島性を優位性を転換させます。</li> <li>●港湾の岸壁等の耐震補強、老朽化対策を進めます。</li> <li>●千葉港の物流エリアの拡大と取扱貨物の増加を図り、県経済をけん引します。</li> <li>●銚子市沖洋上風力発電事業を推進するため名洗港を活用してその整備を進めます。</li> <li>●木更津港の港湾緑地整備を推進し、その早期完成を実現します。</li> </ul> <p>(地域活性化・観光)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●魅力溢れる観光地づくりと効果的な国内外へのPRにより交流人口（観光客・宿泊客）増をはかり地域経済の活性化をもたらします。</li> <li>●県外に常設のアンテナショップを設置してPRの強化を図ります。</li> <li>●人口減少対策として、市町村が実施する移住・定住の促進への支援を行います。</li> </ul>	
--	--	---	--

●二地域居住の推進で7分の3人口を増やし、房総の活性化を図る。東京等に住む人が金曜日の夕方から房総に来て週末を過ごす等の二地域居住は、コロナ禍によってさらに平日も千葉に滞在する形で広がっている。二地域居住に適した土地を紹介するバンクの設置、伝道師の任命、単なる特産品を紹介するアンテナショップではなく、ライフスタイルを訴求する東京での広報拠点、通信インフラの充実などにより、1週間のうち3日間を住み、地元で消費する二地域居住を地元住民に寄り添った形で推進し、房総の活性化と東京隣県でありながら豊かな自然を有する千葉にしかない魅力とライフスタイルを全国に発信する

●厳しい状況にある観光関連産業の再起に向け、国と連携しながら観光促進に取り組むとともに、早朝・夜間の観光イベントなどを重点的に支援し、日帰り⇒宿泊へのシフトを促進する

(農林水産業)

●農林水産業の所得向上や耕作放棄地対策に取り組むとともに、後継者育成・法人参入の促進などにより農業産出額の向上と雇用創出を図る  
農林水産品のブランド化を進めるとともに、農林総合研究センターを強化し、優良品種の育成など各種研究を充実させる

●鳥獣被害対策を強化する。捕獲従事者の確保対策などを進めるとともに、狩猟体験・ジビエ・革の活用などにより、命と自然の尊さを感じる

(農林水産業)

● 全国農業産出額2位（現在は4位）を奪還し、「農林水産王国・千葉」の復活を目指します。

● 農地集積による経営規模拡大を支援するとともに、小規模・家族農業の役割を重視し、必要な支援を確保していきます（中山間地域等直接支払交付金事業など）。

● 現農家の後継者への支援と、新規就農者の掘り起こしと就農後の定着のための人材投資を行います。

(農林水産業)

●農魚産物の県独自の価格・所得補償制度の創設、地産地消のさらなる推進など、就農・魚・林業支援制度の創設など、県内の農・漁・林業を守り、次世代の担い手づくりにつなげます。国連が定めた「家族農業の10年」に基づいた施策を具体化します。

ことのできる大地・千葉のアイデンティティを確立する

●畜産農家の休暇取得に向けた環境整備など、畜産農家の支援に努めるとともに、酪農発祥の地を有することを活用した施策展開に取り組む  
森林環境譲与税の使途について市町村と連携し、県産木材の利用促進など、林業の支援に取り組む

●海外における県単位でのブランド訴求がどこまで効果的か（フランスやスペインの各州ブランドに日本人がどこまで関心があるか）、プロモーション会社に税金が流れるだけの結果になっていないか、冷静・客観的な評価を行う

●輸出促進にあたっては、茨城県との連携により農業・漁業ともに北海道に匹敵する規模となり、共同で『Tokyo East』ブランドを確立し、海外における販路拡大等に努める等、マーケティングに基づく継続的な輸出促進に努める

●それぞれのブランド化の支援に加えて、個々の生産物ではなく、食文化など食材を横断した形でのブランド化・マーケティングを推進する。  
県内の料理人や料理学校との連携に加えて、ミシュランガイドの千葉県版を作成し、千葉料理・千葉の食文化の振興を図る

●世界的に人気である寿司を構成する主要な食材である魚・醤油・米・海苔・生姜において、魚の漁獲高1位（銚子港）、醤油の生産額1位、米の生産量9位、海苔の生産量4位、生姜の生産量3位など、全てが高順位であることを受け、

● 水稻新品種「粒すけ」など、新品種の積極的な開発とブランド化を強化し、農業の可能性を広げていきます。また、輸出の拡大等に繋げるために、輸出に取り組む生産者・団体への海外販路拡大への支援や、GAP制度の普及促進を図ります。

● 意欲ある農業者等の応援のために、産地パワーアップ計画に基づいた施設整備等への助成支援を行います。

● 飼料用米の支援拡大を図り、過剰作付けの解消と米価の安定を目指します。

● イノシシ、ニホンジカ等の有害鳥獣対策及びジャンボタニシへの防除対策を強化するとともに、耕作放棄地の解消を図ります。

● 農業用の揚排水施設等の生産基盤の整備、経営体の育成、農道整備などを着実に進めます。

● 作業の自動化や栽培環境の最適化を実現する機械等の導入を支援して、農業の省力化と自動化を進め、スマート農業の導入を強化します。

● 豚熱への感染予防のためのワクチン接種の負担軽減を図ります。

● 県内繁殖和牛の増頭・改良への助成と、肉用牛のブランド力の向上を図ります。

● 畜産農家が集中する香取・海匝地域の防疫活動体制の強化を図るため、家畜保健衛生所機能を移転・集約化して早期に施設整備を行います。

● 農業者と関係事業者がネットワークを構築して取り組む新商品の開発への助成などを行い、6次産業化を推進します。

● 漁港の長寿命化や市場機能の強化などの漁業

	<p>『すし県』を宣言し、総合的な PR と支援に取り組むなど、訴求力のある展開を検討する</p> <p>●三方を海に囲まれた県として漁業振興に取り組み、海洋立県を目指す。そのためには漁港や加工工場への投資などに加えて、海に関わる食文化・芸術・生活習俗等にも着目し、より幅広い海洋立県・千葉を確立する。例えば大漁祝の引出物として綱元から綱子に配られた『萬祝』とよばれる着物仕立の衣裳・染物は房総の漁業文化を象徴するもの。こうした古来から漁業が盛んな千葉県に宿る文化・芸術の魅力を引き出し、それを伝統文化という世界に留めず、千葉県全体の文化・芸術として展開する</p>	<p>基盤の整備を行って水産物の生産・流通機能の強化を図り、地域水産物の活性化へと繋がります。</p> <p>● 水産総合研究センター再整備を進めます。 ● ノリ新品種の普及やハマグリ種苗量産技術の開発等を進めるなど、東京湾漁業に対する総合的な対策を推進します。</p> <p>● 輸出の拡大等に繋げるために、輸出に取り組む生産者・団体への海外販路拡大への支援を行います。</p> <p>● 造林・保育等の経費助成、道路・電線等の重要インフラに隣接する風倒木の撤去、森林病虫害対策、溝腐れ病被害木の伐倒などの森林整備や、生活道路・災害時迂回路としても利用される林道整備を着実に進めます。</p> <p>● 公共施設での利用など、県産木材の利用促進・流通拡大を図ります。</p> <p>● 木質バイオマスの促進、木育の普及を図ります。</p> <p>● 農林水産業者が経営の多角化を進める 6 次産業化を推進します。</p> <p>● 農林水産業の担い手の確保・育成への支援を強化します。 オリンピック・パラリンピック開催を契機とする県産農林水産物の PR を強化します。</p>	
6.交通インフラ	<p>●アクアライン 800 円の通行料金を維持、恒久化を目指す。一方で、アクアライン 800 円化で渋滞が深刻な時間帯があるのも事実。アクアラインの効果が最も発揮できるよう、ロードプラ</p>	<p>● アクアライン通行料 800 円の恒久化を目指します。また、休日等における渋滞緩和策として、混雑時間帯の回避に繋がる飲食や宿泊等へのインセンティブ付与などの導入支援を図るなど、地</p>	

イシングの考え方に基づき、動的な料金制を研究する。また、アクアラインは橋脚が4車線→6車線に拡幅が可能な設計となっているほか、3本目のトンネルを掘り進めることが可能な構造となっているため、将来的な活用方法についても研究を進める

● 圏央道・北千葉道路の早期開通、長生グリーンライン・銚子連絡道路等の整備促進、新たな湾岸道路・千葉柏道路の検討など、県内の高速道路ネットワークの整備を強力に進めるほか、県内の渋滞個所の解消を着実に進める

● 湘南新宿ライン・上野東京ラインによって神奈川・埼玉と比べ、首都圏へのアクセスに後れを取っている現状を直視する必要がある。りんかい線との相互直通運転・京葉線の複々線化や、北総鉄道・東葉高速鉄道の高運賃問題、県民が使いやすいダイヤ等の課題解決に向けて JR 等の交通事業者と積極的に協議し、千葉県の公共交通の利便性向上に取り組む

● 県内各地域における移動手段の確保に向けた市町村の取り組みを支援する

● 平坦な地形が多い千葉県の特徴を生かし、観光・移動手段の両面での充実を図るため、自転車レーンの整備、民間事業者と連携したシェアサイクルの普及促進やサイクルステーションの整備に取り組む

● 誰もが安全・安心に移動手段として活用できるようホームドアの設置、バリアフリーの環境整備につとめる

域経済の活性化を図ります。

● 現代版「県都1時間構想」の実現。圏央道「大栄～横芝間」の早期開通とインターチェンジへのアクセス強化や、北千葉道路、銚子連絡道路、長生グリーンライン、国道356バイパスなどの幹線道路網の整備を促進します。

● 本県発展に必要な道路計画として、新たな湾岸道路（第2湾岸道路）と千葉北西連絡道路（国道16号バイパス）の整備を着実に進めます。

● 都心直結線や京葉線・臨海線の相互直通運転実現に向けて働きかけるなど、公共交通ネットワークの強化をはかります。また、各地域の実情と要望を踏まえた鉄道路線の充実・維持を図り、必要に応じた支援を行います。特に鉄道を活用した観光事業などの地域や広域の魅力向上に資する取り組みへの支援を行います。

● 日常生活への支障が懸念される交通弱者等への支援を充実させるため、MaaSの導入支援や自動運転を用いた地域公共交通の導入支援を広域行政の観点から検討していきます。

● 公共事業の円滑化や災害時の迅速な復旧等に資するために地籍調査事業を推進します。

● 将来の安定供給・経営を踏まえた水道事業の統合・広域化を進めます。



<p>7.防災・防犯</p>	<p>(防災)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●被災地の1日も早い復旧・復興に全力を尽くす。被災地に率先して足を運び、自らの目と耳で被災地の状況や市町村が抱える課題を把握し、県庁組織をフル回転させる</li> <li>●防災・危機管理部門を強化するほか、他県で発生した災害の復旧復興を支援することで実践的なノウハウを県庁内に蓄積させる。また、県庁組織が市町村組織と一体となって災害対策が取れるよう平時から交流を進める</li> <li>●情報収集体制を強化する。昨年の台風15号の初動の遅れは情報収集不足にあり、市町村・ライフライン事業者等との日頃からの連携による情報収集に加えて、AIを活用してSNSからも情報を収集するなど、あらゆる手段を駆使して正確な情報収集に基づく対策立案を行う</li> <li>●情報の発信を強化する。県民や企業等が安全に避難等の行動が取れるよう、迅速かつ正確な情報提供が必要であり、千葉テレビなど既存メディアを活用して知事自身が自らの言葉で県民に対して発信するほか、1都3県で唯一千葉県が立ち上げていない広報Twitterを開設するなど新たなメディアの活用、障害者・外国人などダイバーシティの視点からの情報提供を行う</li> <li>●電力の強靱化、通信の強靱化に取り組む。既に千葉市は「災害に強いまちづくり政策パッケージ」を策定し、全ての避難所への太陽光発電・蓄電池の設置を民間投資により進める等、先駆的取り組みを進めている。県政においてもインフ</li> </ul>	<p>(防災)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●知事直轄の危機管理室(仮称)を設置し、様々な災害(感染症を含む)に迅速かつ適切に対応できる体制をつくります。</li> <li>●平時から全市町村との情報共有や意見交換を積極的に行い、あらゆる災害への備えを万全にしてまいります。</li> <li>●老朽化した県有建物や橋梁・トンネル等の公共土木施設の長寿命化・耐震補強、無電柱化、水道管の更新・耐震化、護岸整備、水害・土砂災害対策など災害に強い県土づくりに重点的に取り組み、県民の安全で安心な生活を守ります。</li> <li>●市町村と連携して、災害弱者への支援体制の強化を図るとともに、プライバシーや男女のニーズの違いに配慮した快適な避難所空間を提供するための支援を行います。ペット同伴にも配慮できるようにします。</li> <li>●災害発生時の迅速かつ充実した情報発信及び、常に被災者目線での必要な支援を迅速に実施します。</li> </ul>	<p>(防災)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●住民の皆さんの要望も聞きながら、昨年の台風被害からの早急な復興をはかるため、財政的・人的に支援を強化します。</li> <li>●被災者のプライバシーを守る避難所の準備、日頃からのインフラ整備と被害を受けた場合の短期復興を可能とする関連事業団体との連携再構築等、災害対策・準備を県政の柱の一つと位置付けます。災害対応の専門的知識と技能を有する職員の育成に取り組み、被災市町村への支援体制、そのための県職員派遣システムをつくります。</li> </ul>
----------------	---	--	--

ラ企業との連携、災害時に電線等にかかるおそれのある樹木の事前伐採等により、災害に強い県土づくりを進める

●千葉市消防ヘリコプターを県全体で運用し、防災力の向上と千葉市の負担軽減を図る。千葉県は防災ヘリコプターを一機も所有しておらず、2019年の災害では千葉市消防ヘリコプター2機が千葉市内はもとより県内各地を飛行し、被災状況の収集などに貢献している。県全体での共同運用とすることで、貴重な消防ヘリコプターを県内全域の防災・救助に活用する

●2019年の災害後、県は危機管理体制、土砂災害・河川氾濫対策など各種防災対策を強化しており、その取り組みを評価し、必要な人員や予算が継続して配分されるよう差配する

●消防団や自主防災組織など、地域の防災力向上に向けた取り組みを強化する

●動物を飼っている方の防災を支援する。千葉市では2019年の災害においてペットと避難できる避難所を設置。大規模災害時のペットの受け入れ態勢を強化するほか、動物の飼い主に対する防災意識・対策の啓蒙啓発事業を実施する高年齢者、障害者、女性、外国人などダイバーシティの視点を避難所運営など各種災害対応に適切に反映させる

●成田空港に国際物流拠点を整備し、大規模災害時に国際支援を受ける拠点にする

●災害は常に想定していない分野で発生する。千葉県が最も警戒すべき千葉県東方沖地震や東

	<p>京湾北部地震だけでなく、あらゆる災害を想定し、備えを行う</p> <p>(防犯)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●防犯カメラの設置、活用するシステム整備などを着実に進め、犯罪の予防や発生時の迅速な対応を図る</li> <li>●電話 de 詐欺、性犯罪・性暴力、DV・ストーカーなど、各種犯罪への対策と被害者支援に努める</li> <li>●交通安全についてオール千葉県での運動を進めていくとともに、首都圏では高い「信号機のない横断歩道における車の一時停止率」(2019年: 31.0%)をさらに高め、横断歩道の交通安全上の価値を高めていく</li> <li>●道路の停止線、横断歩道などの引き直しを実施する</li> <li>●犯罪被害者への支援を強化するとともに、犯罪を犯した人の更生保護・就労支援を行い、5割前後となっている再犯者率を低下させる</li> </ul>	<p>(防犯)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 警察官を増員して警察力の強化を図ります。</li> <li>● 振り込め詐欺等の特殊詐欺を徹底的に取り締まります。</li> <li>● あおり運転、飲酒運転、可搬式オービスを活用したスピード違反等の取締りを強化し、交通事故死を減らします。</li> <li>● 高齢者・障害者・子ども等に配慮した、歩道の整備、無電柱化等の安全対策を強化します。</li> <li>● 防犯カメラを増台します。ドライブレコーダーの公用車100%配備を進めるとともに、民間車両掲載のドライブレコーダーの利用協定の締結を進め、動く防犯カメラとしての機能を最大限活用して安全対策に繋がります。</li> <li>● DV・ストーカー防止そして被害者支援をはかります。</li> <li>● 犯罪被害者の方への支援強化</li> </ul>	
8.環境・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>●千葉県の里山、谷津田を保全し、自然豊かな千葉県の魅力を次世代に残す</li> <li>●海辺・水辺の保全・活性化を進める。九十九里海岸を始めとする海辺に民間活力を導入して活性化させるほか、主要河川や手賀沼・印旛沼を生かした環境整備、賑わいづくりを国や市町村と連携しながら進める</li> <li>●再生可能エネルギーの普及促進により、エネ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 再生可能エネルギーの導入目標を定めて2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを計画的に目指すべく、「ゼロ・カーボンシティ」を表明するなど、県民一丸で守り、育てていく環境づくりを推進していきます。</li> <li>● 地球温暖化対策や環境学習などの循環型社会の推進に向けた県民・事業者等の取組みを促進するための普及啓発や、太陽光発電設備や家庭用燃</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①2050年までに温室効果ガス排出量をゼロにするための「千葉県脱炭素計画(仮)」を策定します。計画策定にあたっては、積極的に県民参加をすすめる、計画策定に取り組むことで持続可能な開発目標 SDGs の達成をめざします。</li> <li>②脱原発を基本にし、100%再生可能エネルギーを実現します。石炭火力発電の縮小</li> </ul>

	<p>ルギーの地産地消を進めることで、災害時の電力確保にもつなげる。千葉市では民間企業と連携し、行政負担なく、全ての避難所（学校・公民館）に太陽光発電と蓄電池を設置する事業が進んでいる。こうした取り組みを県内に広げていくとともに、銚子沖の洋上風力発電プロジェクトなど、新たな試みを積極的に支援していく</p> <p>●千葉県は東京・神奈川・埼玉と比べ、再生可能エネルギーや電気自動車等への補助が少し遅れている。県内住宅の FIT（固定価格買取制度）終了を見据え、EV 車や V2H への助成を拡充し、各家庭で生まれた電力が災害時に活用できるようにするなど、電力強靱化を図る</p> <p>●産業廃棄物など各種処分場、金属スクラップヤードなど各種ヤード、残土などに対する実効性ある条例制定・改正の検討を進め、経済活動と両立する環境保全に取り組む</p>	<p>料電池の設置、洋上風力発電を推進します。</p> <p>● きれいな水環境を作ります。そのために、海岸や河川のゴミ・漂流物対策の強化、不法係留船の撤去、合併処理浄化槽への転換や高度処理型合併処理浄化槽の設置促進・法定検査実施率の向上の促進などを行います。</p> <p>● 印旛沼・手賀沼の水質改善を進めます。また、農業や漁業にも被害が及ぶナガエツルノゲイトウ、オニビシなどの外来水生植物については、計画的駆除などを実施していきます。</p>	<p>をすすめます。</p> <p>③温室効果ガス排出量ゼロをめざし、樹林地の保護、森林・農地の保全をすすめ、県内の緑地を増やしていきます。</p>
<p>9.芸術・文化・スポーツ</p>	<p>●千葉県の伝統芸能の保存に取り組むとともに、スポーツ環境を着実に整備する</p> <p>「千葉」は万葉集にも出てくる歴史ある地名であり、千葉を治めた千葉一族は源頼朝を助け、鎌倉幕府樹立に貢献した最有力御家人。また、千葉県は朝廷の牧があり、今も馬産県であり、馬術クラブが多い。酪農発祥の地も千葉県にあり、こうした千葉氏や馬術・牧場文化とスポーツを連動させた振興策に取り組む</p> <p>●オリンピック史上初めて日本の千葉県で開催されるサーフィン競技。大会の成功はもとより、</p>	<p>● 国や組織委員会、スポーツ協会はじめ関係機関と連携して、本県開催が予定される東京オリンピック・パラリンピック競技会場、ホストタウンそして事前キャンプ地において、徹底した新型コロナウイルス感染防止対策を実施いたします。</p> <p>● 「スポーツ立県ちば」の一層の推進をはかり、健康で豊かな人生の後押しをします。また、スポーツを通じた活力ある地域づくりを推進します。</p> <p>● 県内の老朽化したスポーツ施設等を積極的に更新・改修いたします。</p> <p>● 自転車道の整備を促進し良好な維持管理を行</p>	

	<p>各種マリンスポーツの振興、さらには千葉県の海洋文化とつなげて広がりを作っていく</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●パラリンピック 4 競技の開催を契機に障害者スポーツの振興に県を挙げて取り組み、さらにデフリンピックやスペシャルオリンピックなどへの支援を通して、千葉県の障害者スポーツの振興を図る</li> <li>●千葉県は里山アートミックスや野外ロックフェスなど、広やかな空間を使って音楽や各種アートを楽しむことができる環境を有している。東京とは異なる、自然と一体感を感じることのできる芸術・文化を一つの千葉県文化として捉え、振興することで、千葉県独自のライフスタイルを力強く示していく</li> </ul>	<p>います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●千葉の特徴を活かしてマリンスポーツやスカイスポーツの振興を図ります。</li> <li>●本県スポーツ選手の育成・強化や、障害者アスリートへの支援助成など、本県にゆかりのある人々を応援します。</li> <li>●サーフィン競技の会場である一宮町釣ヶ先海岸地区に自然公園施設を整備します。</li> <li>●県民や関係団体、市町村などと連携して、「ちば文化」を知らしめ、継承し、そして新たに創造する活動を支援します。</li> <li>●千葉県に対する愛着や誇りを育みます。</li> <li>●県内の文化財・史跡等の保護を積極的に進め、また、これらを活用した観光施策等に対する市町村への支援を積極的に行います。</li> <li>●少年少女オーケストラの育成や千葉交響楽団の活動を支援します。</li> <li>●美術館の活性化を図ります。</li> <li>●地球磁場逆転期の地層「チバニアン」を全世界的にアピールするために、市原市と連携を強化し、積極的な施策を講じます。</li> </ul>	
<p>10.コロナ対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保健所を独自に持つ千葉市・船橋市・柏市との連携を強化するため、合同対策本部を設置。オール千葉県で新型コロナ対策を一体的に行えるよう、リーダーシップを発揮する</li> <li>●保健所を持たない市町村との情報共有はさらに重要。そこで、県保健所に各市町村の職員（保</li> </ul>	<p>円滑な相談・診査・検査体制、PCR検査等の拡充、医療機関への支援強化、軽症者等のための宿泊療養施設や臨時医療施設の設置・拡充など、感染状況に応じた適切な医療提供体制を実施していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●優先順位に従った迅速かつ円滑なワクチン接</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●PCR検査体制の整備充実と検査費用の負担軽減を実施し、安心して必要な検査が受けられるよう対策を講じます。また、県内の医療・介護、福祉従事者の定期的なPCR検査を市町村とも連携しながら社会的検査として実施します。</li> </ul>

健師)を受け入れる、もしくは埼玉県のように県保健所に市町村との連絡要員を配置するなど、組織的な連携体制を構築する

●千葉市が週報という形で病床の状況・感染経路不明の感染者数などを分かりやすく示してきたように、各医療圏毎の状況を県民に分かりやすく発信する。また、知事自らの情報発信に加え、リスクコミュニケーションの専門家を養成し、適切な情報発信が組織的に行える体制を構築する

●コロナ病床の確保に徹底して取り組む。病床確保にあたっては、医師・看護師などの人的リソースの確保、医療現場の実態に合った県独自の支援を実施する

●保健所の機能強化を図る。保健師の増員、事務処理の合理化を行うとともに、千葉市で実施したように、入院調整業務に長けた消防調整員を保健所に配置する等、保健所の負担軽減、入院調整・搬送業務の円滑化を図る

●後方支援病院との連携強化、自宅療養者に対するオンライン診療の実施や相談体制の充実を図り、医療からの孤立を防ぐ

●感染症指定医療機関の配置は医療圏毎となっており、人口密度を考慮していなかった。感染症は人口密度が高いほど拡大しやすく、結果、人口密度の高い東葛北部・南部、千葉医療圏における病床不足に繋がった。国に強力に働きかけ、これら地域の感染症指定医療機関を増やすとともに、感染症危機時に県立病院が役割を果たせる

種が実施されるように、リーダーシップを発揮して、国・市町村と連携した取組みを速やかに進めます。

●医療従事者や介護従事者等への慰労金を追加支給します。

●医療崩壊を防ぐための一層の感染防止対策を推進します。

●成田空港における水際対策を強化します。

●協力金の支給拡大、融資枠の拡大、中小企業や個人事業主等の皆様に対する状況に応じた経済支援を機動的に実施します。

●行事やイベントの再開にあたり、円滑かつ安心して臨んでいただくためのガイドラインを作成するとともに、イベント開催への支援を行います。

●福祉資金の拡充など、県民生活を守ります。

●全市町村との情報共有や意見交換をより積極的に図る機会を設け、先頭に立ってリーダーシップを発揮していきます。

●県民の皆さんへの出来る限り迅速な情報開示及び発信を強化します。

●患者・感染者を受け入れる医療施設、宿泊施設の確保と調整をはかり、入院入所の受け入れに施設間格差や地域間格差が発生しないようにします。

●新たに人員を採用し、県内の保健所の増設・充実をはかります。

●県内の医療機関や介護施設、医療・介護従事者をつぶさないために、煩雑な手続きを必要としない財政補填、待遇改善金を速やかに支給します。

●コロナ禍の下で、減収に苦しむ農業・漁業者、中小零細事業者の営業を維持するため、雇い止めや労働時間削減で苦しむ県民のくらしを守るための補償を実施します。

●県内保健所や市町村、医療・介護・福祉関連団体もメンバーにした、コロナ対策本部を設置し早急な感染終息をはかります。

●コロナ禍の下で、アルバイトのシフト削減・雇い止め、仕送りの減少している大学生・専門学校生が安心して学び続けられるように、食糧支援やオンライン授業を受けるために必要な機器の貸し出しなどの支援を行います。

よう、あり方を見直す

● PCR 検査体制を大幅に拡充する。重症化リスクの高い層の集団感染を防止するため、高齢者施設の職員に対する定期的な検査を県主導で実施するなど、優先順位に基づいた社会的検査を実施する

●千葉県臨床検査技師会などと連携して研修を実施し、民間検査能力の向上を図る

●新型コロナウイルス用ワクチンの接種について市町村をサポートし、医師会等と連携しながら、オール千葉県で安全かつ効果的な接種を行う

●新型コロナウイルスへの対応について様々な角度から検証を行い、新たな感染症が今後発生した場合に備えた改善策を一つひとつ打っていく。例えば県庁組織としての対応として、大規模な感染症は、保健医療だけではなく休業要請やそれに伴う県内企業支援など経済面の戦略、学校などの教育面など、あらゆる部署にまたがり、健康福祉部が単独で統括することは不可能のため、県庁全体が能動的に動ける体制を作る

●マスク、防護服などの医療資材について、県における備蓄を増強するだけでなく、県内企業の医療資材製造を支援するなど、緊急時の医療資材の優先確保体制を整備する

●再度の感染拡大を防ぐため、飲食店の感染防止対策の徹底と支援を実施。また、接待を伴う飲食店で働く従業員の定期的な PCR 検査を行い、感染の拡大を早期に発見、防止する

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業継続、業種転換などを力強くバックアップする。また、千葉市で実施してきたように、国・県などの複雑多岐にわたる支援制度を中小事業者が活用できるよう、専用窓口にて支援する</li> <li>●新型コロナウイルスの感染拡大により、大きな影響を受けた県内経済、特に中小企業への支援に全力を注ぐとともに、コロナ禍を契機に、生産性向上や働き方改革が図られるよう伴走型の支援を行う</li> </ul>		
11.共生社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全国で唯一、男女共同参画条例が制定されていない千葉県。女性の活躍推進だけでなく、障害者・LGBT・外国人なども包含した条例を制定し、男女共同参画、障害者の社会参加の促進、LGBTへの理解促進、多文化共生などに積極的・体系的に取り組み、オリンピック・パラリンピック開催県に相応しい共生社会の実現を目指す</li> <li>●女性の起業家を育成、支援するほか、女性管理職を増やすための県内企業の実践を支援する庁内での働き方改革に取り組み、女性の活躍推進を進めるほか、男性職員の育児休暇取得率、男性が少数派の職場における男性活躍推進プランの策定などに取り組み</li> <li>●障害者の上位職への登用を見据えたプラン策定などに取り組み</li> <li>●障害者福祉施設を着実に整備するほか、人材確保への支援、親亡き後を見据えた支援や強度行動障害などに取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外国人に優しい千葉、多言語対応を強化します。</li> <li>●LGBTを含め、ひとり一人の個性に配慮した誰もが住みやすい千葉県を作っていきます。●条例に基づく手話言語の社会的普及を推進します。</li> <li>●女性活躍を推進するための条例を制定します。</li> <li>●千葉県庁幹部職員への女性の登用率を高めます。現状（令和2年4月）10.9%から目標20%へ。</li> <li>●民間企業における女性採用数・管理職比率の目標の設定（ポジティブアクション）を積極的に支援します。</li> <li>●女性消防団員の拡充など地域防災での活躍など、コミュニティ活動における女性の活躍を支援します。</li> <li>●女性とその意欲と能力に応じて活躍できるよ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ただちに男女共同参画条例を制定し、ジェンダー平等社会を実現する先頭に立ちます。</li> <li>●県の意思決定の場への女性の参画比率を高め、男女比率の均等化をはかります。</li> <li>●LGBT・性的マイノリティーの人権擁護、性暴力被害者支援を徹底・充実します。</li> <li>●あらゆるヘイトスピーチ・行為を許さない、ヘイトスピーチ・行為禁止条例を制定します。</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>●障害者福祉施策を進めるにあたり、「弱者」とのみとらえるのではなく、重い障害を持っていても、全ての人が「支える人」になりうるという視点で支援を行う障害者スポーツの振興、障害者との共生に向け、県庁を挙げて取り組む</li> <li>●千葉県男女共同参画センター内にダイバーシティ・センターを併設して、LGBTなどの社会的マイノリティの支援を進める</li> <li>●教職員、警察を含む県職員、県内企業等に対する研修や周知啓発を実施する</li> <li>●成田空港を持つ千葉県として、外国人住民の日本語習得、教育、雇用、文化、防災など総合的な計画に基づき、外国人住民との共生や県全体の活力につなげる施策に積極的に取り組む</li> </ul>	<p>うにするため、仕事と家庭の両立に向けた環境整備や多様な働き方への支援を進めます。特に、出産後や子育て後のキャリア支援の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 女性特有のがんについて、検診受診率の向上を図ります。</li> <li>● SDGs（持続可能な開発目標）の理念に沿った県づくりを進めます。そのために、県庁職員の理解促進と、県民の認知向上のための積極的な情報発信、市町村との連携や取組みを支援する体制を構築していきます。</li> <li>● SDGsの推進には、あらゆる人の協力が必要であることから、パートナーシップを活性化させるために、県が県内各地の関係者や事業者等を繋ぐ広域的なハブの役割を、積極的に果たしていきます。</li> </ul>	
その他			<ul style="list-style-type: none"> <li>●憲法9条をはじめ日本国憲法を守ります。憲法改正ではなく、憲法を県民のくらしの隅々に活かす立場で県政に取り組みます。</li> <li>●自衛隊木更津基地へのオスプレイ配置に住民とともに反対します。幕張メッセでの武器見本市開催を止めさせます。自衛隊習志野基地での日米合同パラシュート訓練に反対します。</li> <li>●消費税を当面5%に引き下げ、段階的に廃止することを求めます。</li> <li>⑤選択的夫婦別姓制度、同性婚制度の法制化を求めます。</li> </ul>

			<p>●国連の核兵器禁止条約が 2021 年 1 月 22 日に発効されることを歓迎すると同時に、唯一の被爆国として国に対して批准するよう求めます。</p>
--	--	--	--